

えるむのたね



第4号

平成30年8月5日発行

発行元 女性の働きやすさ向上委員会



北海道の短い夏の季節がやってまいりました！あっという間のこの季節、バーベキューにキャンプに花火、野外フェスなどいろいろなイベントが待ち構えていますね！我が家は虫好き長男に付き合っって昼も夜もカブトムシやクワガタをもとめ、あちこちさまよう予定です。夏バテしないようお互いほどほどに楽しみましょう!! さて、今年度も女性の働きやすさ向上委員会として様々な活動を企画しています。今回の広報では活動予定をご紹介します。



今年度の女性の働きやすさ向上委員会は、昨年女性職員を対象に実施したアンケートの結果から女性職員のニーズが高かった【広報「えるむのたね」】【相談窓口】【勉強会】【妊娠期を支えるシステム】の4チームに担当を分け活動をしていきます。どうぞよろしくお願いいいたします！！

広報「えるむのたね」

皆さん、広報「えるむのたね」はご存知でしょうか？

えるむのたね・・・女性だけではなくはるにれで働くすべての職員がライフスタイルが変わったとしても輝いて働き続けられるようになるためにつけられた名前です。

まだまだ遠い道のりですが種から芽がでてやがて大きな畑へと発展できるように、今年も広報「えるむのたね」の発行を引き続き行います。

向上委員会の活動報告はもちろん、法人内での素敵に働く女性職員へのインタビュー等も考えています。

素敵に働く女性職員の情報をお持ちの方！ぜひ自薦・推薦かまいませんので向上委員会までお知らせください！！

法人規定等、ちょっとわからないけど周りに聞くのは気がひけるなあなど素朴な疑問をお持ちの方！広報「えるむのたね」でお答えすることも可能です。どしどしご意見、要望お聞かせください！

相談窓口

妊娠した職員をバックアップするしくみを立ち上げる予定です。

妊娠・出産・復職についての不安を、委員と一緒に乗り越えましょう！

もちろん、それ以外のご意見・ご要望も受け付けます。

今は、その窓口が本格稼働するための準備（パンフレットや申込み書の作成）を行っている所です。



勉強会

昨年度は総合職研修でお時間頂き、研修実施しました。「一緒に働いているチームに妊娠している女性職員がいたら・・・」というテーマで、実際にどのような環境調整や業務調整ができるか、サポートはどのようなものが受けられるのか等、座学とグループワークで考えました。

今年度、どのような研修が良いのだろう・・・と考え、現在計画している最中です。法人職員に女性職員の割合が大きくなってきている現状で、女性が長く働き続けるために、妊娠・出産時のサポートはもちろんですが、その他にもたくさん考えなければいけないことはあります。「いろいろなライフステージを乗り越え、働き続けるには・・・」をテーマに今年度の研修内容を考え中です。詳しいことが決まりましたら、また広報でお伝えしたいと思っています。

「法人職員には男性職員もいるんだ！」重々承知です・・・男性職員の方々にも、興味を持って頂ける内容で進めていきたいと思っています！

妊娠期を支えるシステム

妊娠した女性に対する上司からの面談や情報提供についてのガイドラインを作成し、育休を取る職員に対しては仕事復帰時まで使っていただけるような内容を検討中です！

これは昨年度女性職員に実施したアンケートの結果から「産休育休を経験した女性職員が産休育休前後に上司と面談する機会があったらよいと思っている」ことがわかったので、ガイドライン作成に取り組もうと進めています。

女性の働きやすさ向上委員会メンバーが話し合い、それぞれの体験談などを持ち寄り、こうなったら妊娠しながら仕事を続けていく時に少しは楽かな、この時はこのような情報があると助かるよねなどと情報交換しながら進めています。秋頃までには形にできたらと思っています！



ひとりで困っていませんか？

女性の働きやすさ向上委員会は、女性特有の困りごとを解決するためのお手伝いをします。

業務上の相談事項があれば、担当者までご連絡下さい。

個人名は出さずに委員会の中で話し合いを設けますので、プライバシーは守られます。

どの委員会メンバーでも結構ですのでぜひご連絡ください。

女性の働きやすさ向上委員会

委員長 大和(ほしのみ)

遠藤(ばいえ)

須田(看護)

西川(さりゅう)

能登(あらいぶ)

藤本(ぼぬーる)

山本(さんりんしゃ)

吉田(えみな)

菊池顧問

